

令和5年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	23002	事業名	アプリdeウェルネス推進事業			
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					
	施策体系	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		予 算 科 目	会計	01:一般会計
		基本施策	01:健康づくりの推進と地域医療の充実			款	04:衛生費
		施策の方向	01:「健康都市」の推進			項	01:保健衛生費
		重点プロジェクト	01:「健都さぶり+」プロジェクト			目	01:保健衛生総務費
事業期間	R 5 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		-			

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	健康福祉部
課	健康政策課 健康都市推進G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	健康意識の向上を目的とした健康マイレージ事業は、参加者の6割以上が高齢者層であり、生産年齢人口層の参加が乏しいことから、全ての世代がより参加しやすい環境づくりと、自身の健康情報を見える化させるため、現行のアナログ方式をデジタル方式へと転換させる必要がある。	[個人] 亀山市在住若しくは在勤者の18歳以上の方 [事業者] 亀山市内に所在する従業員50人以下の中小企業及び小規模企業の事業者かつ協会けんぽ三重支部へ健康事業所宣言を行っている事業者	対象者一人ひとりが健康習慣を試みることができる実践の場や事業者が経営的視点から実施する健康管理(健康経営)を実践する環境を構築することで、自身(自社)の健康に対する意識向上や、健康習慣の見直しを図り、主体的な健康活動を行っている。	対象者一人ひとりが健康習慣を試みることができる歩数計・ポイント管理機能等を有するアプリを活用した健康習慣づくり支援の実施。事業所の健康経営を推進するため、また、生産年齢人口層の積極的な参画を図るため、アプリ等も活用した健康経営支援制度を構築する。 収集データを、計画策定や成果指標の算出などへ活用する。

年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画		○アプリの導入 ○アプリを活用した健康習慣づくり支援		○アプリを活用した健康習慣づくり支援 ○健康経営支援 ○特産品交流事業 ○ウォーキング促進事業		○アプリを活用した健康習慣づくり支援 ○健康経営支援 ○政策間連携の検討 ○特産品交流事業 ○ウォーキング促進事業	
	活動実績 (計画通り実施できたか)		健康マイレージアプリを9月に公開し、年度末までに目標指標の計画値を超える1,123名の方に登録いただき、個人の健康づくり支援に寄与した。また健康経営支援制度の制度設計を前倒しで行い、令和6年6月からの運用開始に向け、調整を図った。政策間連携を前倒しで行い、他部署の行事等でアプリ内ポイント付与する等、政策目的を超えて横断的に連携した。					
計画額	事業費	事業費		9,500千円	8,786千円	4,500千円		7,300千円
		国・県支出金			4,400千円			
		地方債						
		その他						
決算額	事業費	事業費			8,308千円			
		国・県支出金			3,643千円			
		地方債						
		その他			600千円			
		一般財源		9,500千円	4,386千円	4,500千円		7,300千円
		一般財源			4,065千円			
①期間内計画額(R4-7)		21,300千円	②期間外計画額(R8-)		0千円	①+②総計画額		21,300千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	8,786千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	健康マイレージアプリダウンロード数	成果	人	計画値		1,000	1,500	1,800
				実績値		1,123		
健康経営支援制度登録事業所数	健康経営支援制度へ登録した累計事業者数	成果	事業者	計画値			10	10
				実績値				
地域まちづくり協議会主催のウォーキングイベント数	ウォーキングマップを活用したウォーキングイベントの回数(年度毎)	成果	回	計画値				22
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	健康マイレージアプリ導入により、市民等の健康に関する意識向上や主体的な健康活動を促すことができた。また他部署の行事等にアプリ内ポイントを付与し、広報を行うことで、相互の事業で集客やアプリ利用に効果があった。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
[個人] 亀山市在住若しくは在勤者の18歳以上の方 [事業者] 亀山市内に所在する従業員50人以下の中小企業及び小規模企業の事業者かつ協会けんぽ三重支部へ健康事業所宣言を行っている事業者	対象者一人ひとりが健康習慣を試みることができる実践の場や事業者が経営的視点から実施する健康管理(健康経営)を実践する環境を構築することで、自身(自社)の健康に対する意識向上や、健康習慣の見直しを図り、主体的な健康活動を行っている。

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	アプリダウンロード数は計画値を上回る結果となったが、さらなる利用者増を目指し、健康経営支援登録事業所の増加による若年層や、シルバー人材センターとの連携による老年層の利用促進など、全年代により広く周知を行う必要がある。また、アプリ内アンケート結果を利用した利用者ニーズに沿ったアプリ内コンテンツの充実や、景品の提供に努めるとともに、ポイントの新たな活用手法等の検討を進めるため、関係部署と協議を行う必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	継続(拡大)	施策の更なる推進に向け、事業の拡大・充実を図る。
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの まちづくり協議会単位でウォーキングマップを作成し、アプリ内で公開する。アプリの利用を含む健康経営支援制度を導入し利用事業所の増加に向けた取り組みを行う。	令和7年度以降で対応するもの 令和6年度に作成予定の地域まちづくり協議会単位でのウォーキングマップを活用したイベントなどを行い、引き続き利用者の拡大に向けた取り組みを行う。

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定			A	
事業展開			継続(拡大)		

1次評価者	健康福祉部 健康政策課 健康都市推進GL 櫻井 ころこ
最終評価者	健康福祉部 健康政策課 課長 大平 守